

安全に生活するために

～きけんから自分を守ろう～

ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前



安全に安心して生活するために、
おうちの人といっしょに
次のことを考えてみましょう。

チェック①

学校帰りに知らない人から声をかけられました。

知らない人に「かわいい子犬を見せてあげるよ。」「ぬいぐるみをあげるよ。」
「カードをあげるよ。」などと声をかけられ、どこかに連れて行かれることが
あります。



Q 1 知らない人に声をかけられたらどうしよう？

- ア やさしそうな人だからついていく
- イ なにかを買ってくれそうだからついていく
- ウ 知らない人にはついていかない

おうちの人とのやくそく

チェック②

公園で遊んでいると、みんなが「もう帰ろうよ。」と言いました。

一人でいると、もしも何かがあったときに、だれも助けに来てくれません。



Q 2 一人にならないようにどなたとどこに気を付ける？

- ア みんなといっしょに帰る
- イ 楽しいから一人で遊ぶ
- ウ 危なくなさそうだから、一人でも遊ぶ

おうちの人とのやくそく

チェック③

ともだち あそ そと で
友達と遊びに外に出かけます。

だまって出かけるとおうちの人が心配します。もし、何かあっても助けに行くことができません。

Q 3 外に出かけるときはどうしよう？

- ア おうちの人に行く場所や帰る時刻を伝えてから出かける
- イ おうちの人にだまって出かける
- ウ 急いでいたので何も言わずに出かける
- エ おうちの人がいなかったので、メモをおいて出かける

おうちの人とのやくそく

じぶん み まも
自分の身を守るために

※おうちの人と約束した時刻を守って家に帰りましょう。

※暗くなる前に家に帰りましょう。

※遅い時刻に外出しないようにしましょう。

おうちの人と
たしかめよう

じぶん み
自分の身は、
じぶん まも
自分で守ろう！



チェック④

し ひと くるま こえ
知らない人に車から声をかけられました。

車が近づくと、中に入れられてどこかへ連れて行かれることがあります。

Q 4 車から声をかけられたらどうしよう？

- ア 車に近づいて話をする
- イ やさしそうなので、車で家まで送ってもらおう
- ウ すぐに車からはなれる

おうちの人とのやくそく



チェック⑤

おも
こわい思いをすることがあります。

みんなが気を付けていても、こわい目にあうことがあります。

Q 5 こわい思いをしたらどうしよう？

- ア 大声でさげぶ
- イ 暗くて、静かなところへにげこむ
- ウ 近くのお店や家になげこむ
- エ その場からすぐになげる
- オ 防犯ブザーなどで危険を知らせる



おうちの人とのやくそく

チェック⑥

知っていますか？

ひととおおみちかえ
人通りの多い道をまっすぐ帰ろう！
なに
何かあったらすぐに110番だよ！

Q 6 みんなを守ってくれる家や店や交番などがあります。

家の近くのどこにあるか知っていますか？

- こども110番の家
- 近くの家や店
- 交番
- 消防署
- 郵便局
- など



Q 7 まちの中にはこわい思いをするかもしれない場所があります。

家の近くのどこにあるかおうちの人と確かめておきましょう！

- 知らない人に声をかけられやすい場所
- ひとりぼっちになるとこわい場所



おおだこポリスの
4つのやくそく



おうちのひとにいきます！

出かけるときは大きな声でかならず
言いましょう。

おともだちとあそぼうね！

遊ぶときや学校の行き帰りは友達と
いっしょです。

だまされてついていけない！

知っている人でもおうちの人にたし
かめましょう

こわくなったら大きな声で！

大きな声を出すことは大切です。いつ
も心がけましょう。

あんぜん みほん
安全マップ(見本)





ぼくやわたしのやくそく



こわいとき、こまったときに知らせるところはどこ？

★★つたえるところ★★

つたえる人の電話番号を書いておきましょう

●おうちの人の電話 ① (- -) ② (- -)

●おうちの人につたえられないとき 「 」さん 電話 (- -)

★★つたえること★★

<電話のかけ方やつたえ方のれんしゅう>

「話し方のポイント」

① たすけてほしいことをいってください

② こまっていることをいってください

③ こわいおもいをした場所はどこですか

④ こわいおもいをしたのはいつですか

⑤ あいての人はどんな人ですか

★★ほかにつたえるところ★★

● 警察の電話 110番

● 学校の電話 (- -)

あんぜん

安全マップをつくろう

みんなを守ってくれる家や交番などがあります。実際に通学路を歩いて、危ない場所や「いざ」というときににげこめる場所が、どこにあるかたしかめておきましょう。

Blank area for drawing a safety map.

大人の方へ

子どもたちが安全に生活するために(チェックシート解説編)

～シートの学習を通して子どもたちに身に付けさせていたいただきたいこと～

チェック①

学校帰りに知らない人から声をかけられました。

いわゆる声かけ事案が発生しています。知らない人に声をかけられたときの対応について、必要な知識と行動の仕方を身に付けさせてください。

Q1 知らない人に声をかけられたらどうしよう? 望ましい答え「ウ」

- 状況判断が大切です。相手の様子を見て、不審な動きがあれば、すぐその場から逃げることが大切です。様々な状況と対応について、話し合いを深めてください。

チェック②

公園で遊んでいると、みんなが「もう帰ろうよ。」と言いました。

一人で行動すると様々な危険なことに巻き込まれる可能性が高く、「いざ」というときに助けを呼ぶこともできません。防犯を常に意識して行動できるよう指導してください。また、様々な状況と対応の方法について話し合いを深めてください。

Q2 一人にならないように、どんなところに気を付けたらよいか? 望ましい答え「ア」

チェック③

友達と遊びに外へ出かけます。

外出時の約束について、ご家族でよく話し合い、お子様が黙ってでかけることがないように十分に指導してください。また、遅い時刻や暗くなってからの必要以外の外出は絶対に避けることをご指導ください。ご家庭の実情に応じた連絡方法を確認しておいてください。

Q3 外に出かけるときはどうしよう? 望ましい答え「ア」(※「エ」)

- ※ どうしても連絡が取れない場合は、事前に連絡方法の約束をしておくことが大切です。

チェック④

知らない人に車から声をかけられました。

車に連れ込まれそうになる事案が発生しています。道を聞かれるなどのことがあっても、絶対に車に近づくことがないように注意することが大切です。

Q4 車から声をかけられたらどうしよう? 望ましい答え「ウ」

チェック⑤

こわい思いをすることがあります。

気を付けていても、こわい目にあうことがあります。危機場面での行動の仕方について普段から考えておくことが危機回避能力を高めることになります。

Q5 こわい思いをしたらどうしよう? 望ましい答え「ア」「ウ」「エ」「オ」

- 様々な状況と対応について話し合いを深めてください。

チェック⑥

知っていますか?

Q6 みんなを守ってくれる家や店や交番などがあります。家の近くのどこにあるか知っていますか?

- 地域や学校などで行っている防犯活動の具体的な内容をよく知って活用することが安全確保に役立ちます。お子様といっしょに調査し、確実に把握してください。
- 近所の方で地域で活動されている方々とお子様や保護者が「知り合い」「顔見知り」になることが子どもの安全を守るために必要です。あいさつの励行なども指導してください。

Q7 まちの中にはこわい思いをするかもしれない場所があります。家の近くのどこにあるかおうちの人と確かめておきましょう!

- 学校や地域から必要な情報を得るようにしましょう。

おおだこポリスについて

神奈川県警察では、子どもを犯罪から守る防犯標語として「おおだこポリスの4つのおやくそく」を推奨しています。各ご家庭でチェックシートを基に確認してください。
詳しくは神奈川県警ホームページ(<https://www.police.pref.kanagawa.jp/index.htm>)をご覧ください。

ぼくやわたしの約束

「いざ」というとき、お子様が助けを求められることができるよう、ご家庭内で「連絡先」や「連絡方法」などを確認してください。また、協力してくれる方と話をし、依頼しておくことも重要です。

安全マップをつくろう

お子様といっしょに地域を歩き、学校などからの情報を利用して「安全マップ」づくりを進めましょう。学校への通学路や駅などへの経路、避難できる家や店などを確認しておくことも重要です。